

平成 21 年度 JCI 四国支部第 1 回拡大幹事会議事録

日 時:平成 21 年 5 月 1 日 (金) 14:00～16:30

場 所:香川大学工学部安全システム建設工学科会議室

出席者:堺支部長、氏家幹事、島幹事、橋本幹事、古田幹事、明石常任委員、横井常任委員、鷺津常任委員、
天羽(会計監査)、井戸(四国支部事務局)

欠席者:水口本部理事、熊沢幹事

配付資料

- 1-1 JCI 四国支部平成 21 年度第 1 回拡大幹事会次第
- 1-2 平成 20 年度 JCI 四国支部第 2 回拡大幹事会議事録
- 1-3-1 第 5 回 JCI 四国支部総会次第
- 1-3-2 平成 20 年度 JCI 四国支部事業報告(案)
- 1-3-3 平成 20 年度収支決算(案)・平成 21 年度収支予算(案)
- 1-3-4 平成 21 年度 JCI 四国支部事業計画(案)
- 1-3-5 「四国のコンクリート構造物のアセットマネジメントに関する研究員会」平成 20 年度活動報告
- 1-3-6 「四国の骨材に関する研究委員会」平成 20 年度活動報告
- 1-3-7 「ブリッジマネジメント・ワークショップ開催」のご案内
- 1-3-8 「2007 年制定コンクリート標準示方書発刊に伴う四国地区講習会」のご案内
- 1-3-9 「フライアッシュの有効利用と混和コンクリート構造物の耐久性に関する講習会」のご案内
- 1-3-10 「平成 20 年度 JCI 中国・四国支部共催コンクリート工学セミナーin 広島」開催のお知らせ
- 1-3-11 「平成 20 年度生コンセミナーin 愛媛」のご案内
- 1-3-12 JCI 四国支部現場見学会のお知らせ及び報告
- 1-3-13 コンクリート診断士講習会会場別受講申込者数
- 1-3-14 コンクリート診断士試験およびコンクリート技士・同主任技士試験結果の概況
- 1-4 第 3 回「四国の骨材に関する研究委員会」WG3・WG4 合同委員会議事録(案)
- 1-5 平成 21 年度 JCI 四国支部現場見学会(案)
- 1-6 講演・講習会等に関する会計報告について
- 1-7 JCI 四国支部平成 21 年度および 22 年度役員名簿

審議事項

1.会長挨拶

堺支部長より拡大幹事会の開催にあたり、挨拶がなされた。

2.平成 20 年度 JCI 四国支部第 2 回拡大幹事会議事録の確認

資料 1-2 に基づき、堺支部長より説明がなされ、承認された。

3.第 5 回 JCI 四国支部総会次第の確認

資料 1-3-1 に基づき、堺支部長より説明があり、以下の事項について決定された。

司会：橋本幹事、 議事録者：氏家幹事、 署名人：島幹事・明石常任委員

4.平成 20 年度 JCI 四国支部事業報告の確認

資料 1-3-2 に基づいて、以下の審議がなされた。

(1) 研究委員会活動

①「四国のコンクリート構造物のアセットマネジメントに関する研究委員会」平成 20 年度活動報告

資料 1-3-5 に基づき、氏家委員長より報告がなされた。

・7 月を目処に、2 年間の調査研究活動の成果について、報告書を作成すると共に講習会を開催する。

②「四国の骨材に関する研究委員会」平成 20 年度活動報告

資料 1-3-6 に基づき、堺委員長より報告がなされた。また、資料 1-4 に基づき、橋本幹事 (WG4 主査) より、第 3 回 WG3・WG4 合同委員会について具体的な説明、報告がなされた。

- ・今年度も継続されることが確認された。
- ・WG3・WG4 合同委員会は、次回 6 月 17 日 (水) に開催する。
- ・研究委員会は、次回 7 月頃に開催予定である。

(2) 講習会

①ブリッジマネジメント・ワークショップ開催について

資料 1-3-7 に基づき、講習会の内容について確認した。

②2007 年制定コンクリート標準示方書発刊に伴う四国地区講習会について

資料 1-3-8 に基づき、講習会の内容について確認した。

③フライアッシュの有効利用と混和コンクリート構造物の耐久性に関する講習会について

資料 1-3-9 に基づき、講習会の内容について確認した。

④平成 20 年度 JCI 中国・四国支部共催コンクリート工学セミナーin 広島について

資料 1-3-10 に基づき、講習会の内容について確認した。

⑤生コンセミナーin 愛媛について

資料 1-3-11 に基づき、講習会の内容について確認した。

・講習会については、すべて事務局から JCI 四国支部会員へ案内の DM を郵送し、周知することが確認された。

(3) 現場見学会

資料 1-3-12 に基づき、内容について確認した。

(4) コンクリート診断士講習会

資料 1-3-13 を用いて、堺支部長より、高松会場の参加者数が年々増加していることが説明された。

(5)コンクリート診断士試験及びコンクリート技士・主任技士試験

資料 1-3-14 を用いて、堺支部長より、受験者・合格者の状況が報告された。

(6)コンクリート教育への助成

堺支部長より、高松工業高等専門学校へ 10 万円の助成金が支給されたことが確認された。

(7)ホームページ運営

JCI 四国支部のホームページを充実させてきたことが確認された。また、平成 21 年度も横井常任委員が担当することが確認された。

(8)会員増強

堺支部長より、会員数について説明があった。

・団体会員が減ってはいるものの、正会員及び団体会員の総数は確実に増加している。

5.平成 20 年度収支決算(案)および平成 21 年度収支予算(案)の確認

資料 1-3-3 を用いて、堺支部長より説明がなされた。

・平成 20 年度決算について

講習会収入について、通帳の預かり額に対して-1,000 円の差額が生じているが、これは、フライアッシュに関する報告書の売上代金を現金で戴き、総会費の費用として使用したため通帳に明記されていないことが説明された。

・平成 21 年度予算について

研究委員会費について、平成 21 年度は 3 本の研究委員会を行うため、予算を前年度より 20 万円加算した。また、診断士講習会報酬金については、コンクリート診断士講習会において、平成 22 年度より JCI 四国支部が責任者として担当することとなり、香川県生コンクリート工業組合の分担金を無しにする。また、人件費について、今年度から 3%の税金を支払う必要があること等を考慮して、月額 15,000 円を平成 21 年度より 18,000 円に昇給することが確認された。

6.平成 21 年度 JCI 四国支部事業計画(案)について

資料 1-3-4 に基づいて、以下の審議がなされた。

(1)研究員会活動

堺支部長が委員長である「四国の骨材に関する研究委員会」に加え、「環境配慮型コンクリート構造物設置後の機能変化に関する調査研究委員会」を徳島大学の上月教授が委員長として、「四国のコンクリート需要の将来予測に関する研究委員会」を高知工科大学の大内准教授が委員長として設立することとなった。

(2)特別講演会

「スイスでは今、何を造っているか」

大内雅博氏(高知工科大学工学部社会システム工学科准教授)による、第 5 回四国支部総会特別講演会を開催する。

(3)講習会

①生コンセミナーin 香川

今年度は香川にて開催する。

②JCI 四国・中国支部共催コンクリート工学セミナーin 高知

今年度は高知にて開催する。

③四国のコンクリート構造物のアセットマネジメントに関する講習会

平成 19 年度から平成 20 年度まで活動した四国のコンクリート構造物のアセットマネジメントに関する研究委員会の成果を報告する講習会を 7 月日処に開催する。

④建設に関わる物質フローに関する講習会

堺支部長が開催準備をすることとなった。

⑤土木学会関係講習会

幹事より 2 つ提案があり、JCI の「コンクリートのひび割れ調査、補修・補強指針」を用いた講習会を JCI 四国支部で 6～7 月頃、高松にて開催する方向で橋本幹事が調整することとなった。また、併せて土木学会のコンクリート規準に関する講習会も検討することとなった。

(4)現場見学会

資料 1-5 を用いて、鷺津常任委員より提案について説明がなされた。

・「R192 号徳島南環状道路・ケーソン工事等」について、11～12 月頃開催する方向で、鷺津常任委員が調整することとなった。

(5)コンクリート教育への助成

阿南工業高等専門学校为天羽教授に助成金を支給することとなった。

7.講演・講習会等に関する会計報告について

資料 1-6 を用いて、堺支部長より説明がなされた。

8.平成 21 年度及び平成 22 年度 JCI 四国支部役員

資料 1-7 を用いて、堺支部長より役員交代について説明がなされた。

・熊澤幹事の後任として米澤氏、中井常任委員の後任として田邊氏、鷺谷常任委員の後任として城所氏が選出され、了承された。

9.その他

特になし

以上